日本体育・スポーツ哲学会第33回大会報告¹

畑 孝 幸 (長崎大学教育学部)²

1. はじめに

2011年8月の第33回大会は、立正大学から明治大学に会場を移して開催するよう計画されていたのですが、東日本大震災の影響による夏の電力不足のため首都圏で開催することが危ぶまれ、別の地域に会場を移して行うことが検討されました。長崎開催が決まったのは新年度の最初の理事会でした。この理事会では、前に長崎で開催された第22回大会から10年が経過していたことから、「そろそろ西の方で学会大会を開催しては…」という要望があったことを私も出席していたので記憶しています。長崎では、前述の学会大会のほか、1999年に行われた日本スポーツ教育学会第19回大会と、一昨年の日本スポーツ教育学会第29回大会のお世話をさせていただきました。過去に三度の学会大会を経験しており、ノウハウの蓄積があるだろうから「急遽学会大会を長崎で準備することになっても問題なし」というのが理事会での結論でした。

とにかく第33回大会は8月20日(土)から21日(日)にかけて長崎で行われることになりました。開催までの準備期間が短く、担当者には「広報が行き届いているだろうか…」「人数が集まるだろうか…」という不安が付きまといましたが、しかし始まってみると、出島にある長崎県美術館を会場にした学会大会には60名以上

の方が参加してくださり、外国からの参加者を迎えることもできたばかりか、学会大会に参加できない方からは「運営費の足しに…」と寄付をいただいたりもしました。雨模様の学会大会でしたが、一般研究発表のほか、会長講演やシンポジウム の話題について、質疑の時間ばかりでなく、空き時間にもカフェを利用して活発な議論があったのを目にしました。初日の夕方、近くの公園内にあるレストランで行った、研究交流会も盛況でした。ともかくも無事に二日間の学会大会を終えて安堵の胸をなでおろしました。それは様々な角度から今回の学会大会を支えてくださった皆さまの力に負うところが大きいと思われます。ありがとうございました。

2. 概要とプログラム

舩本先生の会長講演はスポーツの力を東日本大震災復興支援に役立てようという内容でした。本学会も対応を模索しています。一般発表では22題の発表がありました。そのうちの1題は、広島大学の客員教授制度を利用して来日されたオーストラリアの比較教育学者、ブライアン・デンマン博士と樋口先生によるもので、日本語と英語で「新しい『教育保障』とスポーツ教育の哲学」というテーマで発表してもらいました。別の4題は国立台湾師範大学大学院生の英語による発表でした。彼らは本会が台湾運動

¹ Report on the 33rd Conference of the Japan Society for the Philosophy of Sport and Physical Education

² Takayuki HATA, Faculty of Education, Nagasaki University, 1-14 Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521, Japan

哲学研究会および台湾身体文化学会と進めていた国際交流活動の一環として来日してくれました(2012年3月末に国際学術交流協定が無事に締結されました)。

シンポジウムは、「自己と他者と運動実践を考える」の最終年の企画でしたが、「『かわり』の独自性と体育のあり方」というサブテーマのもと、提案趣旨も含めて5つの発表をしてもらいました。旭川大会から3年間、石垣先生と近藤先生によりコーディネートされたシンポジウムは、最終年に「体育論に対する本質的問題を提起」することができたのではないのでしょうか。

以下にプログラムを示します。一般研究発表等に関する個々のコメントは、学会大会の運営で多忙だった担当者が、落ち着いて聞けなかった発表の内容を間違えて報告してはいけませんので、割愛させていただきます。

最後に、準備の段階から当日の会場での実務にいたるまで力を貸してくれた長崎大学教育学部4年生(当時)の、影井さん、小阪くん、高以末さんは、学会大会に参加していただいた方々のアドバイスもあり、無事試験に合格、4月から二人は教諭として就職し、一人は大学院に進学することができました。あわせて報告させていただきます。

2.1 8月20日(土)

・講演

司会・進行 (所属)	発表時間	番号	演 題	発 表 者 (所属)
釜崎 太 (明治大学)	13:10 ~ 13:40		スポーツの存在意義について 大震災時のジレンマ	舛本直文 (首都大学東京)

・研究発表 I

司会・進行 (所属)	発表時間	番号	演 題	発 表 者 (所属)
	13:45 ~ 14:15	1	Female body of religious ceremony	江 欣惇 (台湾師範大学大学院) 張 智昇 (朝陽科技大学)
杉山英人 (千葉大学)	14:15 ~ 14:45	2	The practice of Lefebvre's space philosophy in physical activity research	蔡 佳杖 (台湾師範大学大学院)
	14:45 ~ 15:15	3	剣道の国際的普及の方向性と課題 韓国剣道の台頭から	小田佳子 (東海学園大学) 近藤良享 (中京大学)

・研究発表Ⅱ

司会・進行 (所属)	発表時間	番号	演 題	発 表 者 (所属)
	13:45 ~ 14:15	4	子どもの態度や行動の発達を促す体育・スポーツの内容に関する一考察 特に遊びに着目して	千葉洋平 (国士舘大学大学院)
大橋道雄 (東京学芸大学)	14:15 ~ 14:45	5	「オリンピック競技大会」の学習内容について 札幌大会時の「オリンピック学習の手引き」 を事例として	三浦 裕 (北海道教育大学)
	14:45 ~ 15:15	6	スポーツ・ルールの法理学的考察 解釈者の視点から見る「原理」の役割と機能	松宮智生 (国士舘大学大学院)

・研究発表Ⅲ

司会・進行 (所属)	発表時間	番号	演 題	発 表 者 (所属)
	15:20 ~ 15:50	7	武道の稽古論にみる文化の変容	中澤雄飛 (国士舘大学大学院)
加藤泰樹 (上越教育大学)	15:50 ~ 16:20	8	「体育理論」領域におけるスポーツ教育の可能性 教材としてのフェアプレイ	荒牧亜衣 (早稲田渋谷 シンガポール校)
	16:20 ~ 16:50	9	現象学的運動学の必要性	滝沢文雄 (千葉大学)

・研究発表Ⅳ

司会・進行 (所属)	発表時間	番号	演 題	発 表 者 (所属)
服部豊示 (明治薬科大学)	15:20 ~ 15:50	10	教養教育としての体育と外国語教育 領域に限定されない試み	森田 啓 (千葉工業大学)
	15:50 ~ 16:20	11	運動指導における知の構造 「臨床の知」の働きに着目して	松川将久 (国士舘大学大学院)

・シンポジウム

司会・進行 (所属)	発表時間	番号	演 題	発 表 者 (所属)
近藤良享 (中京大学) 石垣健二 (新潟大学)	17:00 ~ 19:00		自己と他者と運動実践を考える 「かかわり」の独自性と体育のあり方	
		S1	自己と他者と運動実践を考える(3年目) 「かかわり」の独自性と体育のあり方	石垣健二 (新潟大学) 近藤良享 (中京大学)
		S2	「かかわり」の独自性と中・高等学校の体育・ スポーツのあり方	清水 将 (東亜大学)
		S3	「かかわり」の独自性とダンスにおける「意味」の 共有 実践を通してダンスの授業のあり方を探る	大橋奈希左 (上越教育大学)
		S4	「かかわり」の独自性とスポーツにおける拡大体験	深澤浩洋 (筑波大学)
		S5	「かかわり」と自己と体育	遠藤卓郎 (筑波大学)

2.2 8月21日(日)

・研究発表Ⅴ

司会・進行 (所属)	発表時間	番号	演 題	発 表 者 (所属)
畑 孝幸 (長崎大学)	10:10 ~ 10:40	12	新しい「教育保障(Education Security)」と スポーツ教育の哲学	樋口 聡 (広島大学) ブライアン・デンマン (広島大学客員教授)

・研究発表Ⅵ

司会・進行 (所属)	発表時間	番号	演 題	発 表 者 (所属)
井上誠治 (国士舘大学)	10:45 ~ 11:15	13	One physical education teacher's life philosophy	林 義淳 (台湾師範大学大学院) 程 瑞福 (台湾師範大学)
	11:15 ~ 11:45	14	The power of imagination Study of athletic coach's comprehension ability of competition	林 慶宏 (台湾師範大学大学院)
	11:45 ~ 12:15	15	遺伝子ドーピングに関する倫理学的研究の再検討 否定論と肯定論に着目して	竹村瑞穂 (筑波大学)

・研究発表Ⅶ

司会・進行 (所属)	発表時間	番号	演 題	発 表 者 (所属)
森 知高 (福島大学)	10:45～11:15	16	「人間の運動」の現象学的な理解に基づく インナーゲームの指導方法の試み 「共通感覚」についての現象学的検討Ⅰ	長内昭継 (鹿角市立末広小学校)
	11:15～11:45	17	人の「本当の生き方」の意味 武道，芸道の達人の境地を考える立場から	照屋太郎
	11:45～12:15	18	危機的時代状況とスポーツ ヤスパースの場合	関根正美 (岡山大学)

・研究発表Ⅷ

司会・進行 (所属)	発表時間	番号	演 題	発 表 者 (所属)
阿部悟郎 (仙台大学)	13:00～13:30	19	「スポーツ経験」概念の検討	高橋 徹 (国士舘大学大学院)
	13:30～14:00	20	身体観の変容を導く体づくり運動の展開 身体運動の学習から発生へ	高橋浩二 (大阪産業大学)
	14:00～14:30	21	体育授業における潜在的メッセージ 身体性という視座からの検討	坂本拓弥 (東京学芸大学大学院)
	14:30～15:00	22	スポーツと規範性の獲得についての研究	阿部一麻 (新潟大学大学院)

受付 2012年4月27日